

添付資料

温室効果ガス排出量の削減効果及び資源循環の効果算出シート

事業名：廃スプリングマットレス・ベッドボトムのマテリアルリサイクル

■該当する類型

類型	1
----	---

■基準シナリオの種別

ベッドマットレス・ベッドボトムの全国平均の処理

令和8年4月 X 日

■目次

1	シナリオの概要と機能単位
2	算出範囲
3	インベントリデータ一覧
4-1	算出結果_温室効果ガス排出量の削減効果（製品バスケット法の場合）
4-2	算出結果_温室効果ガス排出量の削減効果（負荷回避法の場合）
5-1	算出結果_資源循環の効果（類型①）※
5-2	算出結果_資源循環の効果（類型②）※
5-3	算出結果_資源循環の効果（類型③）※
6	改訂履歴

※該当する類型の様式のみ作成すること

1.シナリオの概要と機能単位

改訂番号 1 入力日 令和8年4月X日

注記) 個別事業者の算定資料につき、各諸数値の根拠は一部想定値で記載しております。
 当該事業において技術検証等は実施しておりません。

事業名：廃スプリングマットレス・ベッドボトムのマテリアルリサイクル

■該当する類型

■基準シナリオの種別

類型	1
----	---

ベッドマットレス・ベッドボトムの全国平均の処理

■シナリオの概要と機能単位

記入項目		記入欄	
シナリオの概要	事業シナリオ	廃棄物の種類 ベッドマットレス・ベッドボトム（産業廃棄物）	
		再資源化等の方法 ベッドマットレス・ベッドボトムのマテリアルリサイクルにより、鉄スクラップ（ピアノ線材の原料）、繊維原料、樹脂（ポリウレタン）、木材チップを再生する事業。	
		再生材（複数ある場合は処理割合） 廃棄物の処理量1tあたり鉄スクラップ0.375t、再生繊維原料（再生糸）0.1t、廃プラスチック（ポリウレタン）0.3t、木材チップ0.225t	
機能単位	対象とする廃棄物	種類と量	ベッドマットレス・ベッドボトム
		排出源	XX市：XX% XX市：XX%
	生産される再生部品又は再生資源	鉄スクラップ、再生繊維原料（再生糸）、再生ポリウレタン、木材チップ	
温室効果ガス排出量の削減効果の算出方法に負荷回避法を用いる場合に○と入力する			

2.算出範囲

改訂番号 1 入力日 令和8年4月X日

事業名：廃スプリングマットレス・ベッドボトムのマテリアルリサイクル(類型1)

■各シナリオのプロセス

事業A：事業シナリオの再資源化プロセス

事業B：基準シナリオに再資源化や熱回収の工程があり、事業シナリオにはその工程がない場合、その再資源化や熱回収によって得られる製品・サービスの天然資源・プライマリー材由来の製造プロセス

基準A：基準シナリオの処理プロセス

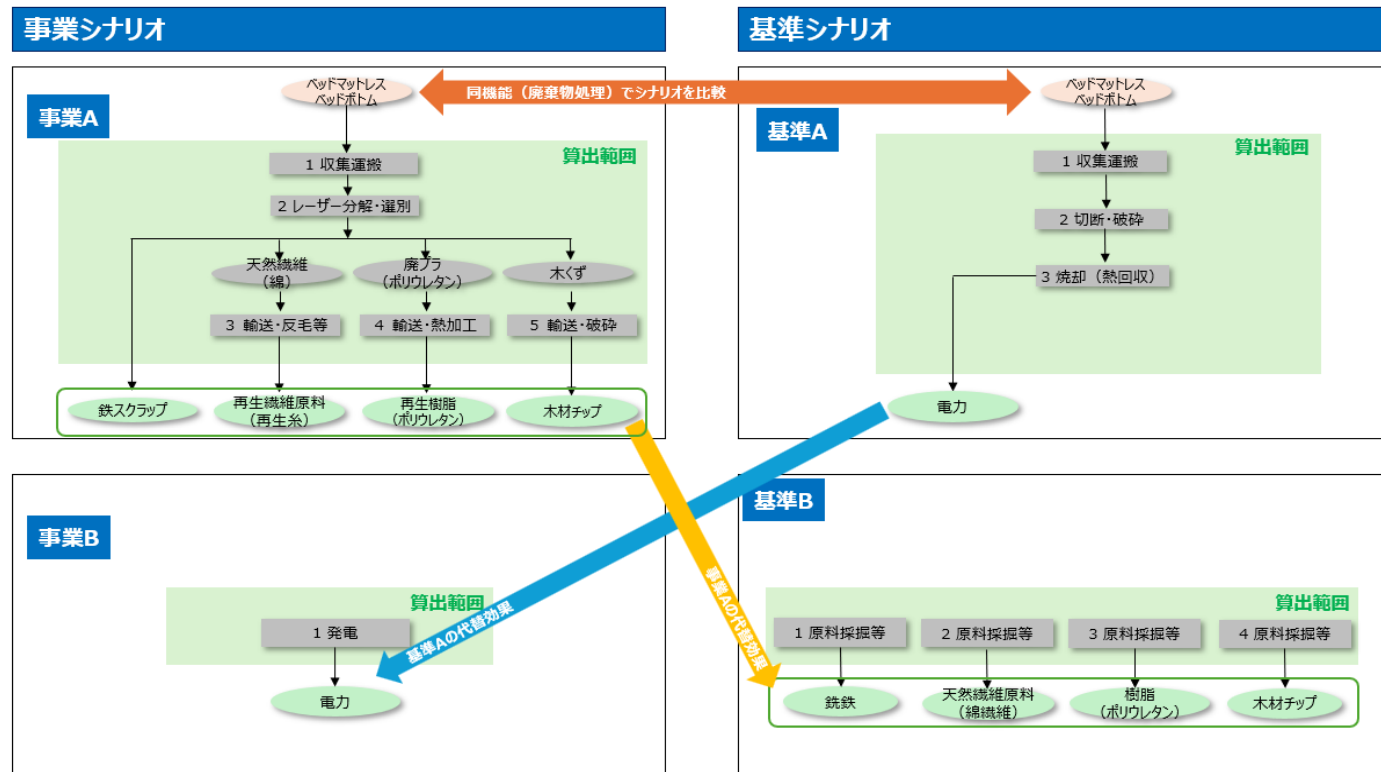
基準B：事業シナリオの再資源化と同じ製品・サービスの製造におけるプライマリー材での製造プロセス

■算出範囲

類型①：A⇒収集運搬から残渣処理処分を含む再資源化等のプロセスまで B⇒プライマリー材由来の製品製造プロセスまで

類型②：A⇒収集運搬を除く残渣処理処分を含む再資源化等のプロセスまで B⇒プライマリー材由来の製品製造プロセスまで

類型③：A⇒収集運搬を除く残渣処理処分を含む再資源化等のプロセスのうち事業シナリオで設備更新等を実施するプロセスによって影響を受けるプロセス B⇒プライマリー材由来の製品製造プロセスまで



(凡例) □：プロセス ○：製品・サービス 緑色の範囲：算出範囲

【入力上の注意】

- ・算出範囲のプロセスは採番をした上で、図中のプロセス凡例に番号とプロセス名を併記すること。
- ・算出範囲のプロセスは緑色の四角で囲い、算出範囲を明示すること。
- ・算出範囲のプロセスが多いなどの理由で、作図に必要なスペースが不足する場合は算出範囲について別ファイルで提出することを認める。
- ・両シナリオの廃棄物と、プロセスが生み出す製品・サービスより等量・等質（機能が等価という意味）であるものをそれぞれ両矢印で示すこと。
- ・「算出範囲」が本シートに収まりきらない場合は、別ファイルで提出してもよい。その場合は以下のとおりで提出すること。
- ・Word、Excel、PowerPoint、PDFのいずれかのファイルによること。
- ・A4サイズで印刷されることを念頭に置き、10pt以上のフォントを用いて作成すること。
- ・ファイル名は「【算出範囲】申請者名_事業名.拡張子」とすること。
- ・類型②の場合、収集運搬のプロセスがシナリオ間で異なる場合、算出範囲に含め、同一の場合は算出範囲から省略することができる。

3.インベントリデータ一覧

改訂番号 1

入力日 令和8年4月X日

事業名：廃スプリングマットレス・ベッドボトムのマテリアルリサイクル(類型1)

(1) 温室効果ガス排出量の削減効果に関するインベントリデータ

①事業シナリオ

カテゴリ	No.		プロセス	区分	数値	単位	活動量等の数値を計算した場合に用いた値、数式	出典における数値の定義・考え方	出典	出典番号
	プロセス	参照								
事業A	1 a		収集運搬	活動量	50.000	tkm	1t×50km=50tkm	事業者ヒアリングから輸送距離を算定。廃棄物1tを50km輸送する	事業実績（事業者ヒアリングより）	1
	1 b		収集運搬	排出係数	0.582	kgCO2e/tkm	0.222L/tkm × 2.62kgCO2/L = 0.58kgCO2/tkm	出典より「4t車・積載率20%・2025年度基準」の燃費（0.222L/tkm）と軽油の製造・燃焼にかかる排出係数（2.62kgCO2e/L）を得て、これに乗じて収集運搬の排出係数を求めた。	・事業実績（事業者ヒアリングより） ・経済産業省、国土交通省（2023）ロジスティクス分野におけるCO2排出量算定方法共同ガイドラインVer.3.2 p59, 27	1, 2
	2 a		レーザー分解	活動量	2.700	kWh	-	レーザー分解装置の消費電力	事業実績（事業者ヒアリングより）	1
	2 b		レーザー分解	排出係数	0.423	kgCO2e/kWh	-	出典より、電気事業者の排出係数の平均値を取得	環境省「温室効果ガス排出量算定・報告・公表制度 電気事業者別排出係数一覧 令和8年度提出用」p16	3
	2 c		手選別	活動量	1.000	t	-	廃棄物量 1 t	事業実績（事業者ヒアリングより）	1
	2 d		手選別	排出係数	0.000	kgCO2e/t	-	手選別のため 0 kgCO2e/t	事業実績（事業者ヒアリングより）	1
	3 a		繊維輸送	活動量	0.100	t	-	事業者ヒアリングより、マットレス・ベッドボトム計1tからの繊維排出量を取得	事業実績（事業者ヒアリングより）	1
	3 b		繊維輸送	排出係数	13.000	kgCO2e/t	-	出典より、繊維くずのリサイクルの輸送に係る排出係数を取得	環境省（2025）「サプライチェーンを通じた組織の温室効果ガス排出等の算定のための排出原単位データベース（Ver.3.5）」8 廃棄物、リサイクルされるもの、繊維くず、廃棄物輸送の排出原単位	4
	3 c		反毛等	活動量	0.100	t	-	事業者ヒアリングより、マットレス・ベッドボトム計1tからの繊維排出量を取得	事業実績（事業者ヒアリングより）	1
	3 d		反毛等	排出係数	101.000	kgCO2e/t	-	出典より、廃繊維製品1tに由来する再生糸の製造に係るCO2排出原単位を取得	経済産業省製造産業局 繊維課（2009）「繊維製品（衣料品）のLCA調査報告書」p22	5
	4 a		プラ輸送	活動量	0.300	t	-	事業者ヒアリングより、マットレス・ベッドボトム計1tからのプラスチック（ポリウレタン）排出量を取得	事業実績（事業者ヒアリングより）	1
	4 b		プラ輸送	排出係数	13.000	kgCO2e/t	-	出典より、廃プラスチック類のリサイクルの輸送に係る排出係数を取得	環境省（2025）「サプライチェーンを通じた組織の温室効果ガス排出等の算定のための排出原単位データベース（Ver.3.5）」8 廃棄物、リサイクルされるもの、廃プラスチック類、廃棄物輸送の排出原単位	4
4 c		プラ熱加工	活動量	0.300	t	-	事業者ヒアリングより、マットレス・ベッドボトム計1tからのプラスチック（ポリウレタン）排出量を取得	事業実績（事業者ヒアリングより）	1	

【入力上の注意】

- ・「活動量等の数値を計算した場合に用いた値、数式」には、活動量に影響する収率、機器の処理能力等の条件があり、それらを掛け合わせて活動量等を算出した場合に、計算に用いた元の数値と計算式を入力する。
- ・「出典における数値の定義・考え方」には、出典におけるデータの範囲（排出係数の例：鉄鋼製品の製造/ データの範囲：鉄鉱石の採掘、輸送、製鉄、製鋼、鋳造、圧延など）、設定条件（例：データ整備をおこなった地域、対象の技術、データのばらつき等データ採用にあたり留意するべき事項、など）等を明記すること。
- ・活動量を申請者自身の測定値より算出に用いる場合はガイドライン4.1.4を参照し、データの品質についても留意すること。（具体的には、データを測定した期間、データのばらつき・統計的な確からしさに関して記述すること）
（実測値を算出に用いる例：あるプロセスについて、廃棄物1t当たりの電力消費量を計算する場合/ 〇〇〇年〇月～〇〇〇年〇月（12か月間）の〇〇プロセスの消費電力量の合計値を配電盤で計測した（XXXkWh）。同期間の当該プロセスの廃棄物処理量（YYYt）で消費電力量を割り算することで廃棄物1t当たりの電力消費量を算出した。
XXX kWh / YYY t = ZZZ kWh
なお、〇〇〇年〇月～〇〇〇年〇月の月ごとの廃棄物1t当たりの電力消費量は平均値±5%の範囲内に収まることを確認済み）
- ・「出典における数値の定義・考え方」にて、他のインベントリデータを参照する場合は、下記のルールにて参照番号を付記して記載のこと。
記載例：②基準A-3a
= ②基準シナリオ カテゴリ：基準A、プロセス・参照番号：3a を示す。
- ・「No./プロセス」には、「2.算出範囲」シートにて、フロー記載のプロセス凡例と同じプロセス名、番号を用いること。
- ・「プロセス」には、「2.算出範囲」シートのフローに記載のプロセス凡例の名称と同じものを記載のこと。
- ・「出典」に記載の引用箇所のパージ番号、数値について、算出シートには出典資料として添付すること。
出典資料は、引用箇所が分かるようマークを付けたうえで該当ページを提出のこと。

	4 d	プラ熱加工	排出係数	425.000	kgCO2e/t	-	出典より、ベレット製造の排出係数 0.425kgCO2/kgを取得	海洋プラスチック問題対応協議会 (2019)「プラスチック製容器包装再 商品化手法およびエネルギーリカバリー の環境負荷評価 (LCA)」p39, 47	6
	5 a	木くず輸送・破碎	活動量	0.225	t	-	事業者ヒアリングより、マットレ ス・ベットボトム計1tからの木くず排 出量を取得	事業実績 (事業者ヒアリングより)	1
	5 b	木くず輸送・破碎	排出係数	15.000	kgCO2e/t	-	出典より、木くずのリサイクルの排 出原単位を取得	環境省 (2025)「サプライチェーンを 通じた組織の温室効果ガス排出等の算定 のための排出原単位データベース (Ver.3.5)」8 廃棄物, リサイクルさ れるもの, 木くず, 廃棄物輸送含むリサ イクルの排出原単位	4
事業B	1 a	発電	活動量	732.878	kWh	$(0.300t \times 41900MJ/t + 0.225 \times 18900MJ/t + 0.100 \times 18100MJ/t) \times 14.16\% \div 3.6MJ/kWh$	・出典より、廃プラスチック (熱可 塑性樹脂、産廃) の低位発熱量 41.90MJ/kg、木くず (産廃) の低位 発熱量18.9MJ/kg、繊維くずの高位 発熱量18.1MJ/kgを取得 ・出典より、ごみ焼却施設の発電効 率の平均値14.16%を取得 ・事業シナリオより、ベッドマト レス及びベットボトム計1tあたり、廃 プラスチック0.300t、木くず0.225t、 天然繊維0.100t (鉄スクラップは除 く) ・以上から、計1tあたりの熱量・電力 を算出	・環境省「廃棄物熱回収施設設置者認定 マニュアル (令和4年3月一部改訂) p14 ・一般廃棄物の排出及び処理状況等 (令 和5年度) についてp9	7,8
	1 b	発電	排出係数	0.423	kgCO2e/kWh	-	出典より、電気事業者の排出係数の 平均値を取得	環境省「温室効果ガス排出量算定・報 告・公表制度 電気事業者別排出係数一 覧 令和8年度提出用」p16	3

②基準シナリオ

カテゴリ	No.		プロセス	区分	数値	単位	活動量等の数値を計算した場合に 用いた値、数式	出典における数値の定義・考え方	出典	出典番号
	プロセス	参照								
基準A	1 a		収集運搬	活動量	50.000	tkm	1t × 50km = 50tkm	事業者ヒアリングから輸送距離を算 定。廃棄物1tを50km輸送する。	事業実績 (事業者ヒアリングより)	1
	1 b		収集運搬	排出係数	0.582	kgCO2e/tkm	$0.222L/tkm \times 2.620kgCO2/L = 0.582kgCO2/tkm$	出典より「4t車・積載率20%・2025 年度基準」の燃費 (0.222L/tkm) と 軽油の製造・燃焼にかかる排出係数 (2.62kgCO2e/L) を得て、これに乗 じることで収集運搬の排出係数を求 めた。	・事業実績 (事業者ヒアリングより) ・経済産業省, 国土交通省 (2023) ロジ スティクス分野におけるCO2排出量算定 方法共同ガイドラインVer.3.2 p59, 27	1, 2
	2 a		切断・破碎 (廃プラ)	活動量	0.300	t	-	廃プラスチックの重量が事業シナリ オと同量と想定 ※鉄スクラップ (金属くず)、天然 繊維 (繊維くず) は排出原単位0の ため記載省略	事業実績 (事業者ヒアリングより)	1
	2 b		切断・破碎 (廃プラ)	排出係数	136.000	kgCO2e/t	-	出典より、廃プラスチック類のリサ イクルの排出原単位を取得	環境省 (2025)「サプライチェーンを 通じた組織の温室効果ガス排出等の算定 のための排出原単位データベース (Ver.3.5)」8 廃棄物, リサイクルさ れるもの, 廃プラスチック類 (廃棄物輸	4

	2 c	切断・破砕（木くず）	活動量	0.225 t	-	木くずの重量が事業シナリオと同量と想定 ※鉄スクラップ（金属くず）、天然繊維（繊維くず）は排出原単位0のため記載省略	事業実績（事業者ヒアリングより）	1
	2 d	切断・破砕（木くず）	排出係数	8.000 kgCO2e/t	-	出典より、木くずのリサイクルの排出原単位を取得	環境省（2025）「サプライチェーンを通じた組織の温室効果ガス排出等の算定のための排出原単位データベース（Ver.3.5）」8 廃棄物、リサイクルされるもの、木くず、輸送含まない	4
	3 a	焼却（熱回収）	活動量	1.000 t	-	事業シナリオと同量	事業実績（事業者ヒアリングより）	1
	3 b	焼却（熱回収）	排出係数	534.000 kgCO2e/t	-	出典より、廃棄物の輸送・焼却の排出原単位を取得	環境省（2025）「サプライチェーンを通じた組織の温室効果ガス排出等の算定のための排出原単位データベース（Ver.3.5）」8 廃棄物、焼却処理されるもの、平均値、輸送含まない原単位	4
基準B	1 a	鉄鋼製造	活動量	0.375 t	-	事業シナリオと同量	事業実績（事業者ヒアリングより）	1
	1 b	鉄鋼製造	排出係数	1880.000 kgCO2e/t	-	・精錬前の状態として鉄スクラップの排出原単位を銑鉄で代用 ・出典より、銑鉄の製造に係る排出原単位を取得	環境省（2025）「サプライチェーンを通じた組織の温室効果ガス排出等の算定のための排出原単位データベース（Ver.3.5）」5 産連表DB、銑鉄、No158	9
	2 a	天然繊維製造	活動量	0.100 t	-	事業シナリオと同量	事業実績（事業者ヒアリングより）	1
	2 b	天然繊維製造	排出係数	604.000 kgCO2e/t	-	出典より廃繊維製品1tに由来する綿（新規製造）の製造に係るCO2排出原単位を取得	経済産業省製造産業局 繊維課「繊維製品（衣料品）のLCA調査報告書」（2009）p22	5
	3 a	樹脂製造	活動量	0.300 t	-	事業シナリオと同量	事業実績（事業者ヒアリングより）	1
	3 b	樹脂製造	排出係数	1290.000 kgCO2e/t	-	・ポリウレタン製造の排出原単位を熱可塑性樹脂で代用 ・出典より熱可塑性樹脂の製造に係る排出原単位を取得	環境省（2025）「サプライチェーンを通じた組織の温室効果ガス排出等の算定のための排出原単位データベース（Ver.3.5）」5 産連表DB、熱可塑性樹脂、No121	9
	4 a	木材チップ製造	活動量	0.225 t	-	事業シナリオと同量	事業実績（事業者ヒアリングより）	1
	4 b	木材チップ製造	排出係数	42.000 kgCO2e/t	-	出典より木材チップの製造に係る排出原単位23100kgCO2/千m ³ を1tあたりに換算（産廃の木くず0.55t/m ³ ） $23100\text{kgCO}_2/\text{千m}^3 \div (1000\text{m}^3 \times 0.55\text{t/m}^3) = 42\text{kgCO}_2/\text{t}$	・環境省（2025）「サプライチェーンを通じた組織の温室効果ガス排出等の算定のための排出原単位データベース（Ver.3.5）」5 産連表DB、木材チップ、No89 ・日本産業廃棄物処理振興財団「廃棄物の種類ごとの集計単位と重量換算係数 Ver.1.5, p1/5, 木くず	9,10

（2）資源循環の効果に関するインベントリデータ

③事業シナリオ

カテゴリ	No.	再生材	数値	単位	活動量等の数値を計算した場合に用いた値、数式	出典における数値の定義・考え方	出典	出典番号
事業A	1	鉄スクラップ	0.375	t	-	マットレス・ベットボトム計1tに対する再生材製造量	事業実績（事業者ヒアリングより）	1
	2	再生繊維原料（再生糸）	0.100	t	-	マットレス・ベットボトム計1tに対する再生材製造量	事業実績（事業者ヒアリングより）	1
	3	再生樹脂（ポリウレタン）	0.300	t	-	マットレス・ベットボトム計1tに対する再生材製造量	事業実績（事業者ヒアリングより）	1
	4	木材チップ	0.225	t	-	マットレス・ベットボトム計1tに対する再生材製造量	事業実績（事業者ヒアリングより）	1

④基準シナリオ

カテゴリ	No.	再生材	数値	単位	活動量等の数値を計算した場合に用いた値、数式	出典における数値の定義・考え方	出典	出典番号
基準A		該当なし						

4-1.算出結果_温室効果ガス排出量の削減効果（製品バスケット法の場合）

改訂番号 1

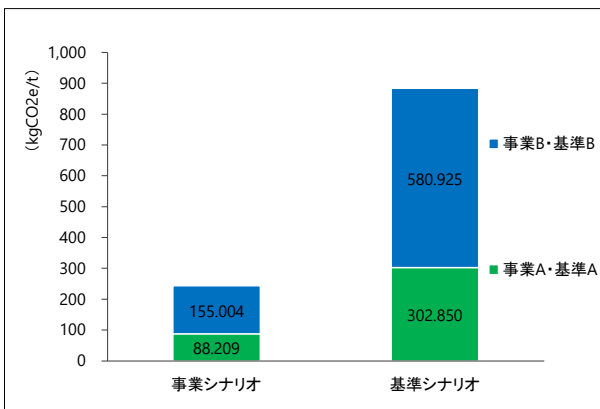
入力日 令和8年4月X日

事業名：廃スプリングマットレス・ベッドボトムのマテリアルリサイクル(類型1)

(1) 温室効果ガス排出量の削減効果

①廃棄物1t当たりの削減量

カテゴリ	項目	排出量 (kgCO2e/t)
事業A	事業シナリオの再資源化プロセス	88.209
事業B	基準シナリオに再資源化や熱回収の工程があり、事業シナリオにはその工程がない場合、その再資源化や熱回収によって得られる製品・サービスの天然資源・プライマリー材由来の製造プロセス	155.004
基準A	基準シナリオの処理プロセス	302.850
基準B	事業シナリオの再資源化と同じ製品・サービスの製造におけるプライマリー材での製造プロセス	580.925
温室効果ガスの排出削減量 (基準A+基準B) -(事業A+事業B)		640.563



(2) 算出結果の詳細

活動量および排出係数については、「3.インベントリデータ一覧」に出典、算出方法を記載すること。

フロー図上のカテゴリとプロセスのNo.を合わせて、記載すること。

①事業シナリオ

カテゴリ	No.	プロセス	活動量				排出係数				排出量 (kgCO2e/t)
			参照No.	項目名	数値	単位	参照No.	排出係数名	数値	単位	
事業A	1	収集運搬	a	収集運搬	50.000	tkm	b	収集運搬	0.582	kgCO2e/tkm	14.550
	2	レーザー分解	a	レーザー分解	2.700	kWh	b	レーザー分解	0.423	kgCO2e/kWh	0.571
	2	手選別	c	手選別	1.000	t	d	手選別	0.000	kgCO2e/t	0.000
	3	繊維輸送	a	繊維輸送	0.100	t	b	繊維輸送	13.000	kgCO2e/t	0.650
	3	反毛等	c	反毛等	0.100	t	d	反毛等	101.000	kgCO2e/t	5.050
	4	ブラ輸送	a	ブラ輸送	0.300	t	b	ブラ輸送	13.000	kgCO2e/t	1.950
	4	ブラ熱加工	c	ブラ熱加工	0.300	t	d	ブラ熱加工	425.000	kgCO2e/t	63.750
	5	木くず輸送・破砕	a	木くず輸送・破砕	0.225	t	b	木くず輸送・破砕	15.000	kgCO2e/t	1.688
合計											88.209

カテゴリ	No.	プロセス	活動量				排出係数				排出量 (kgCO2e/t)
			参照No.	項目名	数値	単位	参照No.	排出係数名	数値	単位	
事業B	1	発電	a	発電	732.878	kWh	b	発電	0.423	kgCO2e/kWh	155.004
合計											155.004

②基準シナリオ

カテゴリ	No.	プロセス	活動量				排出係数				排出量 (kgCO2e/t)
			参照No.	項目名	数値	単位	参照No.	排出係数名	数値	単位	
基準A	1	収集運搬	a	収集運搬	50.000	tkm	b	収集運搬	0.582	kgCO2e/tkm	14.550
	2	切断・破砕	a	切断・破砕 (廃ブラ)	0.300	t	b	切断・破砕 (廃ブラ)	136.000	kgCO2e/t	20.400
	2	切断・破砕	c	切断・破砕 (木くず)	0.225	t	d	切断・破砕 (木くず)	8.000	kgCO2e/t	0.900
	3	焼却	a	焼却	1.000	t	b	焼却	534.000	kgCO2e/t	267.000
合計											302.850

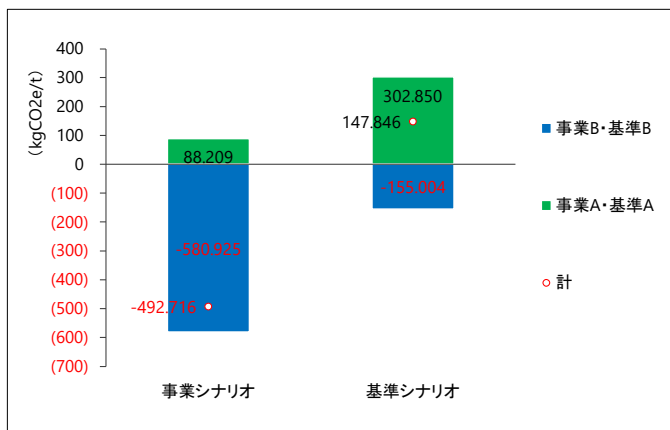
カテゴリ	No.	プロセス	活動量				排出係数				排出量 (kgCO2e/t)
			参照No.	項目名	数値	単位	参照No.	排出係数名	数値	単位	
基準B	1	鉄鋼製造	a	鉄鋼製造	0.375	t	b	鉄鋼製造	1,880.000	kgCO2e/t	352.500
	2	天然繊維製造	a	天然繊維製造	0.100	t	b	天然繊維製造	604.000	kgCO2e/t	30.200
	3	樹脂製造	a	樹脂製造	0.300	t	b	樹脂製造	1,290.000	kgCO2e/t	193.500
	4	木材チップ製造	a	木材チップ製造	0.225	t	b	木材チップ製造	42.000	kgCO2e/t	4.725
合計											580.925

事業名：廃スプリングマットレス・ベッドボトムのマテリアルリサイクル(類型1)

(1) 温室効果ガス排出量の削減効果

①廃棄物1t当たりの削減量

カテゴリ	項目	排出量 (kgCO ₂ e/t)
事業A	事業の取組実施による温室効果ガス排出量	88.209
基準B	事業シナリオの再資源化と同じ製品の製造における、プライマリー材製造工程での温室効果ガス排出量(負の排出量として計上)	-580.925
事業シナリオ		-492.716
基準A	廃棄物の適正処理、再資源化又は熱回収の工程での温室効果ガス排出量	302.850
事業B	基準シナリオで再資源化や熱回収が行われていたと設定した場合に、従来の処理が行われなくなってしまうことを補うために必要な工程での温室効果ガス排出量（負の排出量として計上）	-155.004
基準シナリオ		147.846
温室効果ガス排出量の削減効果 (基準A+事業B) - (事業A+基準B)		640.563



(2) 算出結果の詳細

活動量および排出係数については、「3.インベントリデータ一覧」に典拠、算出方法を記載すること。
フロー図上のカテゴリとプロセスのNo.を合わせて、記載すること。

①事業シナリオ

カテゴリ	No.	プロセス	活動量				排出係数				排出量 (kgCO ₂ e/t)
			参照No.	項目名	数値	単位	参照No.	排出係数名	数値	単位	
事業A	1	収集運搬	a	収集運搬	50.000	tkm	b	収集運搬	0.582	kgCO ₂ e/tkm	14.550
	2	レーザー分解	a	レーザー分解	2.700	kWh	b	レーザー分解	0.423	kgCO ₂ e/kWh	0.571
	2	手選別	c	手選別	1.000	t	d	手選別	0.000	kgCO ₂ e/t	0.000
	3	繊維輸送	a	繊維輸送	0.100	t	b	繊維輸送	13.000	kgCO ₂ e/t	0.650
	3	反毛等	c	反毛等	0.100	t	d	反毛等	101.000	kgCO ₂ e/t	5.050
	4	ブラ輸送	a	ブラ輸送	0.300	t	b	ブラ輸送	13.000	kgCO ₂ e/t	1.950
	4	ブラ熱加工	c	ブラ熱加工	0.300	t	d	ブラ熱加工	425.000	kgCO ₂ e/t	63.750
	5	木くず輸送・破砕	a	木くず輸送・破砕	0.225	t	b	木くず輸送・破砕	15.000	kgCO ₂ e/t	1.688
合計											88.209

カテゴリ	No.	プロセス	活動量				排出係数				排出量 (kgCO ₂ e/t)
			参照No.	項目名	数値	単位	参照No.	排出係数名	数値	単位	
基準B	1	鉄鋼製造	a	鉄鋼製造	0.375	t	b	鉄鋼製造	1,880.000	kgCO ₂ e/t	352.500
	2	天然繊維製造	a	天然繊維製造	0.100	t	b	天然繊維製造	604.000	kgCO ₂ e/t	30.200
	3	樹脂製造	a	樹脂製造	0.300	t	b	樹脂製造	1,290.000	kgCO ₂ e/t	193.500
	4	木材チップ製造	a	木材チップ製造	0.225	t	b	木材チップ製造	42.000	kgCO ₂ e/t	4.725
合計											580.925

②基準シナリオ

カテゴリ	No.	プロセス	活動量				排出係数				排出量 (kgCO ₂ e/t)
			参照No.	項目名	数値	単位	参照No.	排出係数名	数値	単位	
基準A	1	収集運搬	a	収集運搬	50.000	tkm	b	収集運搬	0.582	kgCO ₂ e/tkm	14.550
	2	切断・破砕	a	切断・破砕(廃ブラ)	0.300	t	b	切断・破砕(廃ブラ)	136.000	kgCO ₂ e/t	20.400
	2	切断・破砕	c	切断・破砕(木くず)	0.225	t	d	切断・破砕(木くず)	8.000	kgCO ₂ e/t	0.900
	3	焼却	a	焼却	1.000	t	b	焼却	534.000	kgCO ₂ e/t	267.000
合計											302.850

カテゴリ	No.	プロセス	活動量				排出係数				排出量 (kgCO ₂ e/t)
			参照No.	項目名	数値	単位	参照No.	排出係数名	数値	単位	
事業B	1	発電	a	発電	732.878	kWh	b	発電	0.423	kgCO ₂ e/kWh	155.004
合計											155.004

5-1.算出結果_資源循環の効果 (類型①)

改訂番号

1

入力日

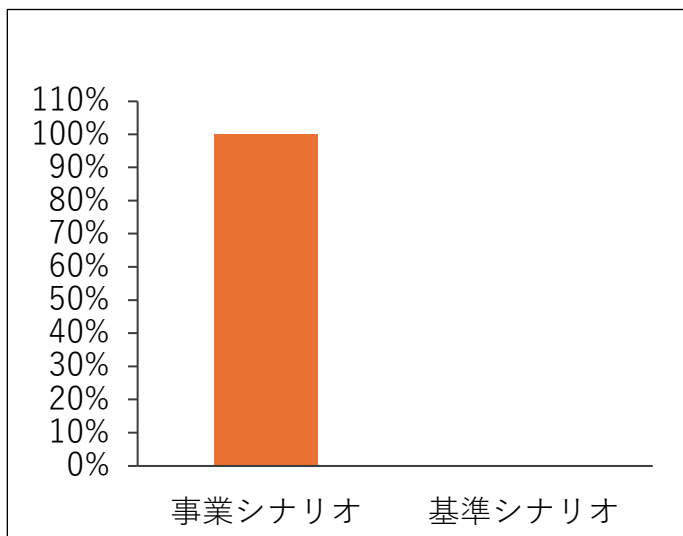
令和8年4月X日

事業名：廃スプリングマットレス・ベッドボトムのマテリアルリサイクル(類型1)

(1) 資源循環の効果

①廃棄物1t当たりの資源循環の効果

項目	事業シナリオ	基準シナリオ
廃棄物の処理量 (t)	1.000	1.000
再生材供給量 (t)	1.000	0.000
再生材供給量/ 廃棄物の処理量 (%)	100%	0%
資源循環の効果 = 事業シナリオ-基準シナリオ		100pt



(2) 算出結果の詳細

活動量等については、「3.インベントリーデータ一覧」に出典、算出方法等を記載すること。

①事業シナリオ

No.	再生材供給量 (t)		
	項目名	数値	単位
1	鉄スクラップ	0.375	t
2	再生繊維原料 (再生糸)	0.100	t
3	再生樹脂 (ポリウレタン)	0.300	t
4	木材チップ	0.225	t
合計		1.000	t

②基準シナリオ

No.	再生材供給量 (t)		
	項目名	数値	単位
	該当なし		t
合計		0.000	t